

注3

大学番号：001

意見伺い

[平成29年度設置]

計画の区分： 研究科以外の教育研究上の基本となる組織（学校教育法第100条）の設置

注1

北海道大学大学院 国際食資源学院 国際食資源学専攻

注2

【意見伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人北海道大学
平成30年5月1日現在

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学新設の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

＜北海道大学大学院 国際食資源学院 国際食資源学専攻（修士課程）＞		ページ
1. 調査対象大学等の概要等	・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2. 授業科目の概要	・・・・・・・・・・・・・・・・	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	・・・・・・・・・・・・・・・・	10
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	・・・・・・・・・・・・・・・・	12
5. 教員組織の状況	・・・・・・・・・・・・・・・・	17
6. 留意事項等に対する履行状況等	・・・・・・・・・・・・・・・・	29
7. その他全般的事項	・・・・・・・・・・・・・・・・	30

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 北海道大学

(2) 大学名 北海道大学

(3) 大学の位置

〒060-0809
北海道札幌市北区北9条西9丁目
(〒060-0808： 北海道札幌市北区北8条西5丁目)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ナワ トヨハル) 名和 豊春 (平成29年4月1日)		
学院長	(イノウエ タカシ) 井上 京 (平成29年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成28年度開設の博士後期課程の場合(平成30年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
大学院国際食資源学院 国際食資源学専攻 (修士課程) 修士(食資源学)	農学関係	2年	15人	30人	

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	15 (-) [-]	-	15 (-) [-]	-	1.09倍			
志願者数	26 (-) [9]	-	29 (2) [6]	-				
受験者数	26 (-) [9]	-	28 (2) [6]	-				
合格者数	21 (-) [6]	-	18 (1) [4]	-				
B 入学者数	17 (-) [3]	-	16 (1) [3]	-				
入学定員超過率 B/A	1.13		1.06					

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	17 [3] (-)	[-] (-)	16 [3] (-)	[-] (-)			
2年次	/		17 [3] (-)	[-] (-)			
計	17 [3] (-)		33 [6] (-)				

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成29年度	17人	0人	平成29年度	0人	0人	
平成30年度	33人	0人	平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
合計	50人	0人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{17} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{33} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<大学院 国際食資源学院 国際食資源学専攻>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
必修科目	総論科目	食資源学総論	1①②	2			3	1				2	
		食資源生産論	1①	2			4	3	1	1		4	
		食資源環境論	1①	2			2	1	1			5	
		食資源ガバナンス論	1①	2			1	4	1			3	
		食資源倫理論	1①②	1			1						
	フィールド科目	ワンダーフォーゲル実習Ⅰ	1②③	1			1	1					
		事前・事後演習Ⅰ	1②③	1			1	1					
		ワンダーフォーゲル実習Ⅱ	1④	1				1	2				
		事前・事後演習Ⅱ	1④	1				1	2				
	演習・研究科目	食資源学演習Ⅰ	1通	2			7	9	3	2			
		食資源学演習Ⅱ	2通	2			7	9	3	2			
		食資源学研究Ⅰ	2通	4			7	9	3	2			
選択必修科目	テーマ科目	生物生産技術特論	1③		1		1	1	1			3	
		ポストハーベスト技術特論	1④		1		1					3	
		持続的生産特論演習	1②		1		1	2		1		3	
		食と健康特論演習	1②		1		1	1				6	
		環境資源特論	1①		1		1	1	1	1		2	
		水土管理特論	1②		1		2	2	1				
		環境解析とモニタリング特論演習	1③		1		1	3	1	1		2	
		環境管理特論演習	1④		1		2	2	1	1		2	
		国際食資源経済学特論	1③		1			2	1				
		分析経済学特論	1②		1		1						
	比較農村社会学特論演習	1④		1			2						
	食資源統計学特論演習	1①		1				2					
	フィールド科目	ワンダーフォーゲル実習Ⅲ	2通		1		2	2	1				
		事前・事後演習Ⅲ	2通		1		2	2	1				
ワンダーフォーゲル実習Ⅳ		2通		1			2						
事前・事後演習Ⅳ		2通		1			2						
ワンダーフォーゲル実習Ⅴ		2通		[1]		7	9	3	2				
選択科目	国際実践力演習	国際プレゼンテーションスキル演習	1③④		2			1					
		文系のための自然科学基礎論	1①②		2			1					
		国際理解	1通		1							1	
		GMO, 食, 農業	1・2③		1			2					
		農業の多様性	1・2②		1		1			1		2	
		動物生殖工学	1・2③		1		1					2	
		バイオエネルギー	1・2④		1					1		2	
		資源回収型サニテーション	1・2④		1		1					1	
		水・エネルギー・食料連携	1・2③		1		1					1	
		経済政策論	1・2②		1		1						
	食資源特別講義	応用計量経済学	1・2④		1			1				5	
		農業技術開発論	1・2③		1				1			2	
		農資源経済学	1・2②		1				1			4	
		食文化論	1・2通		1			1				1	
		漁業管理論	1・2③		1			1				2	
		食資源特別演習	ワイン生産学	1・2通		1			1				1
			気候変動と生態系	1・2④		1					1		1
			近代農村政治史	1・2②		1			1				
			農村グローバル政治史	1・2③		1			1				
			食資源経済統計学	1・2②		1			1				1
アフリカの未来の農村社会	1・2通			1							1		

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
必修科目	総論科目	食資源学総論	1①	2			3			1		2	
		食資源生産論	1①	2			5	1	1	1		4	
		食資源環境論	1①	2			1	1	1	1		5	
		食資源ガバナンス論	1①	2			2	2	1			3	
		食資源倫理論	1④	1			1						
	フィールド科目	ワンダーフォーゲル実習Ⅰ	1②③	1			1	1			1		
		事前・事後演習Ⅰ	1②③	1			1	1			1		
		ワンダーフォーゲル実習Ⅱ	1④	1			1			2			
		事前・事後演習Ⅱ	1④	1			1			2			
	演習・研究科目	食資源学演習Ⅰ	1通	2			7	7	3	2			
		食資源学演習Ⅱ	2通	2			7	7	3	2			
		食資源学研究Ⅰ	2通	4			7	7	3	2			
選択必修科目	テーマ科目	生物生産技術特論	1③		1		2		1			3	
		ポストハーベスト技術特論	1④		1		1					3	
		持続的生産特論演習	1②		1		2	1		1		3	
		食と健康特論演習	1②		1			1				5	
		環境資源特論	1①		1		1	2	1			2	
		水土管理特論	1②		1		1	2	1	1		1	
		環境解析とモニタリング特論演習	1③		1			4	1	1		3	
		環境管理特論演習	1④		1		1	3	1	1		3	
		国際食資源経済学特論	1③		1		1	1	1				
		分析経済学特論	1②		1		1						
	比較農村社会学特論演習	1④		1				2					
	食資源統計学特論演習	1①		1			1						
	フィールド科目	ワンダーフォーゲル実習Ⅲ	2通		1			2	1	1			
		事前・事後演習Ⅲ	2通		1		1	2	1	1			
ワンダーフォーゲル実習Ⅳ		2通		1			1	1					
事前・事後演習Ⅳ		2通		1			1	1					
ワンダーフォーゲル実習Ⅴ		2通		[1]		7	7	3	2				
選択科目	国際実践力演習	国際プレゼンテーションスキル演習	1③④		2			1					
		文系のための自然科学基礎論	1①②		2			1					
		国際理解	1通		1							1	
		GMO, 食, 農業	1・2③		1			1	1				
		農業の多様性	1・2②		1		1			1		2	
		動物生殖工学	1・2③		1		1					2	
		バイオエネルギー	1・2④		1						1	2	
		資源回収型サニテーション	1・2④		1		1				1	1	
		水・エネルギー・食料連携	1・2③		1		1				1	1	
		経済政策論	1・2②		1			1					
	食資源特別講義	応用計量経済学	1・2④		1					1		4	
		農業技術開発論	1・2③		1				1			1	
		農資源経済学	1・2②		1				1			1	
		食文化論	1・2通		1			1					
		漁業管理論	1・2③		1			1				2	
		食資源特別演習	ワイン生産学	1・2通		1			1				1
			気候変動と生態系	1・2④		1				1			1
			近代農村政治史	1・2②		1			1				
			農村グローバル政治史	1・2③		1			1				
			食資源経済統計学	1・2②		1					1		2
アフリカの未来の農村社会	1・2通			1							1		

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
必修科目	総論科目	食資源学総論	1①	2			4					2		
		食資源生産論	1①	2			6	1	1	1		4		
		食資源環境論	1①	2			2	1	1			5		
		食資源ガバナンス論	1①	2			2	3	1			3		
		食資源倫理論	1③④	1			1							
	ワークブック	ワンダーフォーゲル実習Ⅰ	1②③	1			1	1						
		事前・事後演習Ⅰ	1②③	1			1	1						
		ワンダーフォーゲル実習Ⅱ	1④	1			1		2					
		事前・事後演習Ⅱ	1④	1			1		2					
		研究科目・演習	食資源学演習Ⅰ	1通	2			9	7	3	2			
	食資源学演習Ⅱ	2通	2			9	7	3	2					
	食資源学研究Ⅰ	2通	4			9	7	3	2					
選択必修科目	テーマ科目	生物生産技術特論	1③		1		2		1			3		
		ポストハーベスト技術特論	1④		1		1					3		
		持続的生産特論演習	1②		1		2	1		1		3		
		食と健康特論演習	1②		1		1	1				6		
		環境資源特論	1①		1		1	1	1	1		2		
		水土管理特論	1②		1		2	2	1					
		環境解析とモニタリング特論演習	1③		1		1	3	1	1		2		
		環境管理特論演習	1④		1		2	2	1	1		2		
		国際食資源経済学特論	1③		1		1	1	1					
		分析経済学特論	1②		1		1							
	ワークブック	比較農村社会学特論演習	1④		1				2					
		食資源統計学特論演習	1①		1		1	1						
		ワンダーフォーゲル実習Ⅲ	2通		1		2	2	1					
		事前・事後演習Ⅲ	2通		1		2	2	1					
		ワンダーフォーゲル実習Ⅳ	2通		1		1	1						
		事前・事後演習Ⅳ	2通		1		1	1						
		ワンダーフォーゲル実習Ⅴ	2通		[1]		9	7	3	2				
		選択科目	食資源特別講義	国際実践力演習	1①②		2			1				1
				国際プレゼンテーションスキル演習	1③④		2			1				
				文系のための自然科学基礎論	1①②		2			1				
国際理解	1通				1									
GMO, 食, 農業	1・2③				1		1	1						
農業の多様性	1・2②				1		1			1		2		
動物生殖工学	1・2③				1		1					2		
バイオエネルギー	1・2④				1					1		2		
資源回収型サニテーション	1・2④				1		1					1		
水・エネルギー・食料循環	1・2④				1		1					1		
食資源特別演習	経済政策論	1・2②		1		1								
	応用計量経済学	1・2④		1			1				2			
	農業技術開発論	1・2③		1				1			1			
	農資源経済学	1・2②		1				1			1			
	食文化論	1・2通		1			1				1			
	漁業管理論	1・2③		1		1					2			
	ワイン生産学	1・2通		1		1					1			
	気候変動と生態系	1・2④		1					1		1			
	近代農村政治史	1・2②		1			1							
	農村グローバル政治史	1・2③		1			1							

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・教育効果の向上を図るため、「食資源学総論」の配当年次を「1①②」から「1①」に変更。
- ・准教授1名の教授昇任のため、「食資源学総論」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授4」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・准教授2名の教授昇任、兼任・兼担教員変更のため、「食資源生産論」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授6」、「准教授3」から「准教授1」に、兼任・兼担を「4」から「3」に変更。更に平成29年度内に兼担教員を1名採用し兼任・兼担を「3」から「4」に変更。
- ・准教授1名の教授昇任のため、「食資源ガバナンス論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授4」から「准教授3」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため、「食資源倫理学」の配当年次を「1①②」から「1③④」に変更。
- ・准教授1名の教授昇任のため、「ワンダーフォーゲル実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・准教授1名の教授昇任のため、「事前・事後演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・准教授2名の教授昇任のため、「食資源学演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授9」、「准教授9」から「准教授7」に変更。
- ・准教授2名の教授昇任のため、「食資源学演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授9」、「准教授9」から「准教授7」に変更。
- ・准教授2名の教授昇任のため、「食資源学演習Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授9」、「准教授9」から「准教授7」に変更。
- ・准教授1名の教授昇任のため、「生物生産技術特論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・兼任・兼担教員変更のため、「ポストハーベスト技術特論」の兼任・兼担を「3」から「2」に変更。更に平成29年度内に兼担教員を1名採用し「2」から「3」に変更。
- ・准教授1名の教授昇任のため、「持続的生産特論演習」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・准教授1名の教授昇任のため、「国際食資源経済学特論」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・准教授1名の教授昇任のため、「食資源統計学特論演習」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・准教授1名の教授昇任のため、「ワンダーフォーゲル実習Ⅳ」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・准教授1名の教授昇任のため、「事前・事後演習Ⅳ」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・准教授2名の教授昇任のため、「ワンダーフォーゲル実習Ⅴ」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授9」、「准教授9」から「准教授7」に変更。
- ・准教授1名の教授昇任のため、「食資源特別講義（GMO、食、農業）」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・教育効果の向上を図るため、「食資源特別講義（水・エネルギー・食料連環）」の配当年次を「1・2③」から「1・2④」に変更。
- ・兼任・兼担教員変更のため、「食資源特別講義（応用計量経済学）」の兼任・兼担を「5」から「2」に変更。
- ・兼任・兼担教員変更のため、「食資源特別講義（農業技術開発論）」の兼任・兼担を「2」から「1」に変更。
- ・兼任・兼担教員変更のため、「食資源特別講義（農産物経済学）」の兼任・兼担を「4」から「1」に変更。
- ・准教授1名の教授昇任のため、「食資源特別講義（漁業管理論）」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・准教授1名の教授昇任のため、「食資源特別演習（ワイン生産学）」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。

【平成30年度】

- ・教授1名退職及び兼任教員への切り替え、助教1名の兼担教員から専任教員への切り替え及び担当科目の追加、兼任・兼担教員変更のため、「食資源学総論」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授3」、「助教0」から「助教1」に変更。兼任・兼担の「2」は変更なし。
- ・教授1名退職のため、「食資源生産論」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授5」に変更。
- ・教授1名の退職及び兼任教員への切り替え、助教1名の兼担教員から専任教員への切り替えのため、「食資源環境論」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」、「助教0」から「助教1」に変更。兼担教員が兼任教員に切り替わったが、兼任・兼担の「5」は変更なし。
- ・准教授1名退職のため、「食資源ガバナンス論」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授2」に変更。兼任・兼担教員を変更したが、兼任・兼担の「3」は変更なし。
- ・教育効果の向上を図るため、「食資源倫理学」の開講期を「1③④」から「1④」に変更。
- ・准教授1名退職、担当教員准教授1名、助教1名増のため、「ワンダーフォーゲル実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・准教授1名退職、担当教員准教授1名、助教1名増のため、「事前・事後演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・教授2名退職、准教授1名退職、助教1名の准教授昇任、助教1名の兼担教員から専任教員への切り替え及び担当科目の追加のため、「食資源学演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授9」から「教授7」に変更。
- ・教授2名退職、准教授1名退職、助教1名の准教授昇任、助教1名の兼担教員から専任教員への切り替え及び担当科目の追加のため、「食資源学演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授9」から「教授7」に変更。
- ・教授2名退職、准教授1名退職、助教1名の准教授昇任、助教1名の兼担教員から専任教員への切り替え及び担当科目の追加のため、「食資源学演習Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授9」から「教授7」に変更。
- ・「持続的生産特論演習」について兼任教員を変更したが、兼任・兼担の「3」は変更なし。
- ・教授1名退職、兼担教員変更のため、「食と健康特論演習」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼担を「6」から「5」に変更。
- ・助教1名の准教授昇任のため、「環境資源特論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・教授1名退職及び兼任教員への切り替え、助教1名の兼担教員から専任教員への切り替え及び担当科目の追加のため、「水土管理特論」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」、「助教0」から「助教1」、兼任・兼担を「0」から「1」に変更。
- ・教授1名退職及び兼任教員への切り替え、助教1名の准教授昇任、助教1名の兼担教員から専任教員への切り替え及び担当科目の追加のため、「環境解析とモニタリング特論演習」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「准教授3」から「准教授4」に、兼任・兼担を「2」から「3」に変更。
- ・教授1名退職及び兼任教員への切り替え、助教1名の准教授昇任、助教1名の兼担教員から専任教員への切り替え及び担当科目の追加のため、「環境管理特論演習」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」、「准教授2」から「准教授3」に、兼任・兼担を「2」から「3」に変更。
- ・准教授1名退職のため、「食資源統計学特論演習」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・教授1名退職、助教1名の兼担教員から専任教員への切り替え及び担当科目の追加、担当教員教授1名減のため、「ワンダーフォーゲル実習Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授0」、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・教授1名退職、助教1名の兼担教員から専任教員への切り替え及び担当科目の追加のため、「事前・事後演習Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・教授2名退職、准教授1名退職、助教1名の准教授昇任、助教1名の兼担教員から専任教員への切り替え及び担当科目の追加のため、「ワンダーフォーゲル実習Ⅴ」の専任教員等の配置を「教授9」から「教授7」に変更。
- ・「食資源特別講義（農業の多様性）」について兼任教員を変更したが、兼任・兼担の「2」は変更なし。
- ・教授1名退職及び兼任教員への切り替え、助教1名の兼担教員から専任教員への切り替え及び担当科目の追加のため、「食資源特別講義（資源回収サニテーション）」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「助教0」から「助教1」に変更。兼任・兼担の「1」は変更なし。
- ・教授1名退職及び兼任教員への切り替え、助教1名の兼担教員から専任教員への切り替え及び担当科目の追加のため、「食資源特別講義（水・エネルギー・食料連環）」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「助教0」から「助教1」に変更。兼任・兼担の「1」は変更なし。
- ・准教授1名退職及び兼任教員への切り替え、講師1名の担当科目追加、兼任・兼担教員変更のため、「食資源特別講義（応用計量経済学）」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、「講師0」から「講師1」に、兼任・兼担を「2」から「4」に変更。

- ・「食資源特別講義（農業技術開発論）」について兼任教員を変更したが、兼任・兼担の「1」は変更なし。
- ・「食資源特別講義（農資源経済学）」について兼任教員を変更したが、兼任・兼担の「1」は変更なし。
- ・兼任教員変更のため、「食資源特別講義（食文化論）」の兼任・兼担を「1」から「0」に変更。
- ・助教1名の准教授昇任のため、「食資源特別演習（気候変動と生態系）」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「助教1」から「助教0」に変更。兼任教員を変更したが、兼任・兼担の「1」は変更なし。
- ・准教授1名退職及び兼任教員への切り替え、講師1名の担当科目追加、兼任教員から兼任教員への切り替えのため、「食資源特別演習（食資源経済統計学）」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、「講師0」から「講師1」に、兼任・兼担を「1」から「2」に変更。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
12 科目	39 科目	0 科目	51 科目	12 科目 [0]	39 科目 [0]	0 科目 [0]	51 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{51} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	北海道大学全体			
	校舎敷地	923,867 m ²	0 m ²	0 m ²	923,867 m ²				
	運動場用地	175,488 m ²	0 m ²	0 m ²	175,488 m ²				
	小 計	1,099,355 m ²	0 m ²	0 m ²	1,099,355 m ²				
	そ の 他	659,049,323 m ²	0 m ²	0 m ²	659,049,323 m ²				
	合 計	660,148,678 m ²	0 m ²	0 m ²	660,148,678 m ²				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	北海道大学全体				
	625,868 776,494 m ² (625,868 776,494 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	625,868 776,494 m ² (625,868 776,494 m ²)	計算誤りによる修正 (30)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	1室	3室	3室	0室 (補助職員 0 人)	0室 (補助職員 0 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			専任教員退職のため (30)			
	国際食資源学院		24 19 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機 械 ・ 器 具	標 本	学院単位での特定が不能なため、北海道大学 全体の数 除却及び新規購入による 修正(30)	
		〔うち外国書〕 冊	〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕					点
	国際食資源学院	3,838,813 3,740,130 -[1,788,390] [1,748,330]	84,673 85,135 -[37,105] [36,991]	21,399 22,120 -[20,170] [20,825]	89,444 90,076	0	0		
		3,838,813 3,740,130 -[1,788,390] [1,748,330]	84,673 85,135 -[37,105] [36,991]	21,399 22,120 -[20,170] [20,825]	(89,444) (90,076)	(0)	(0)		
	計	3,838,813 3,740,130 -[1,788,390] [1,748,330]	84,673 85,135 -[37,105] [36,991]	21,399 22,120 -[20,170] [20,825]	89,444 90,076	0	0		
		3,838,813 3,740,130 -[1,788,390] [1,748,330]	84,673 85,135 -[37,105] [36,991]	21,399 22,120 -[20,170] [20,825]	(89,444) (90,076)	(0)	(0)		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		同上		
	33,542 m ²		2,224 席		425 万冊				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					同上	
	7,429 m ²		テニスコート(11)、野球場(3)、プール(2)、ホッケー・ハンドボール場(1)、陸上競技場(1)、サッカー・ラグビー場(1)、アメリカンフットボール・ラグロス場(1)、スポーツトレーニングセンター(1)、武道場(1)、剣道場(1)、弓道場(1)、洋弓場(1)、ライフル射撃場(1)、ボート艇庫(1)、ヨット艇庫(1)、馬場(1)、山小屋(5)						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	国立大学法人 北海道大学							備考	
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又は称号	平均入学 定員 超過率	開設 年度	所在地	
文学部						1.04	S25	札幌市北区北10条西7丁目	
人文学科	4	185		740	学士(文学)	1.04	H7		
教育学部						1.07	S24	札幌市北区北11条西7丁目	
教育学科	4	50	③10	220	学士(教育学)	1.07	S24		
法学部						1.05	S28	札幌市北区北9条西7丁目	
法学課程	4	200	②10/③10	850	学士(法学)	1.05	S49		
経済学部						1.06	S28	札幌市北区北9条西7丁目	
経済学科	4	100		400	学士(経済学)	1.07	S28		
経営学科	4	90		360	学士(経営学)	1.06	S41		
理学部						1.03	S24	札幌市北区北10条西8丁目	
数学科	4	50		200	学士(理学)	1.04	H7		
物理学科	4	35		140	学士(理学)	1.02	H6		
化学科	4	75		300	学士(理学)	1.03	H7		
生物科学科	4	80		320	学士(理学)	1.04	H5		
地球惑星科学科	4	60		240	学士(理学)	1.04	H6		
医学部						-	S24		
医学科	6	107	②5	667	学士(医学)	1.00	S24	札幌市北区北15条西7丁目	
保健学科	4	180		720	学士(看護学/保健学)	1.03	H16	札幌市北区北12条西5丁目	
歯学部						0.99	S42	札幌市北区北13条西7丁目	
歯学科	6	53		318	学士(歯学)	0.99	S42		
薬学部						-	S40	札幌市北区北12条西6丁目	
薬科学科	4	50		200	学士(薬科学)	1.03	H18		
薬学科	6	30		180	学士(薬学)	1.03	H18		
工学部			③10			1.04	S24	札幌市北区北13条西8丁目	
応用理工系学科	4	160		640	学士(工学)	1.05	H17		
情報理工学系学科	4	180		720	学士(工学)	1.04	H17		
機械知能工学科	4	120		480	学士(工学)	1.06	H17		
環境社会工学科	4	210		840	学士(工学)	1.03	H17		
農学部						1.04	S24	札幌市北区北9条西9丁目	
生物資源科学科	4	36		144	学士(農学)	1.04	H4		
応用生命科学科	4	30		120	学士(農学)	1.03	H4		
生物機能化学科	4	35		140	学士(農学)	1.04	H4		
森林科学科	4	36		144	学士(農学)	1.04	H4		
畜産科学科	4	23		92	学士(農学)	1.04	H4		
生物環境工学科	4	30		120	学士(農学)	1.03	S24		
農業経済学科	4	25		100	学士(農学)	1.04	S24		
獣医学部						1.03	S27	札幌市北区北18条西9丁目	
共同獣医学課程	6	40		240	学士(獣医学)	1.03	H24		

編入学定員は4学科共通であるため、収容定員には含めていない

水産学部						1.01	S24	函館市港町3丁目1番1号	
海洋生物科学科		4	54	216	学士(水産学)	1.01	H18		
海洋資源科学科		4	53	212	学士(水産学)	1.01	H18		
増殖生命科学科		4	54	216	学士(水産学)	1.01	H18		
資源機能化学科		4	54	216	学士(水産学)	1.01	H18		
文学研究科							S28	札幌市北区北10条西7丁目	
思想文化学専攻	M	2	14	28	修士(文学)	0.53	H12		
	D	3	6	18	博士(文学)	0.82	H12		
歴史地域文化学専攻	M	2	28	56	修士(文学/学術)	0.80	H12		
	D	3	11	33	博士(文学/学術)	0.81	H12		
言語文学専攻	M	2	29	58	修士(文学)	0.98	H12		
	D	3	11	33	博士(文学)	1.08	H12		
人間システム科学専攻	M	2	19	38	修士(文学)	1.65	H12		
	D	3	7	21	博士(文学)	1.04	H12		
法学研究科							S28	札幌市北区北9条西7丁目	
法学政治学専攻	M	2	20	40	修士(法学)	0.97	H12		
	D	3	15	45	博士(法学)	0.35	H12		
法律実務専攻	P	3	50	150	法務博士(専門職)	0.71	H16		
医学研究科							S30	札幌市北区北15条西7丁目	平成29年より学生募集停止
医科学専攻	M	2	—	—	修士(医科学)	—	H14		
医学専攻	D	4	—	—	博士(医学)	—	H19		
情報科学研究科							H16	札幌市北区北14条西9丁目	
情報理工学専攻	M	2	48	96	修士(工学/情報科学)	1.15	H26		
	D	3	12	36	博士(工学/情報科学)	0.63	H26		
情報IL/外口専攻	M	2	39	78	修士(工学/情報科学)	1.21	H16		
	D	3	8	24	博士(工学/情報科学)	0.95	H16		
生命人間情報科学専攻	M	2	33	66	修士(工学/情報科学)	0.96	H16		
	D	3	6	18	博士(工学/情報科学)	0.61	H16		
メディアネットワーク専攻	M	2	30	60	修士(工学/情報科学)	1.21	H16		
	D	3	8	24	博士(工学/情報科学)	1.20	H16		
システム情報科学専攻	M	2	27	54	修士(工学/情報科学)	1.23	H16		
	D	3	8	24	博士(工学/情報科学)	1.37	H16		
水産科学院							H17	函館市港町3丁目1番1号	
海洋生物資源科学専攻	M	2	43	86	修士(水産科学)	1.11	H17		
	D	3	17	51	博士(水産科学)	0.31	H17		
海洋応用生命科学専攻	M	2	47	94	修士(水産科学)	1.29	H17		
	D	3	18	54	博士(水産科学)	0.58	H17		

環境科学院							H17	札幌市北区北10条西5丁目
環境起学専攻	M	2	44	88	修士(環境科学)	0.74	H17	
	D	3	15	45	博士(環境科学)	0.50	H17	
地球圏科学専攻	M	2	35	70	修士(環境科学)	1.00	H17	
	D	3	14	42	博士(環境科学)	0.40	H17	
生物圏科学専攻	M	2	52	104	修士(環境科学)	1.00	H17	
	D	3	23	69	博士(環境科学)	0.59	H17	
環境物質科学専攻	M	2	28	56	修士(環境科学)	1.05	H17	
	D	3	11	33	博士(環境科学)	0.57	H17	
理学院							H18	札幌市北区北10条西8丁目
数学専攻	M	2	46	92	修士(理学)	0.74	H18	
	D	3	17	51	博士(理学)	0.54	H18	
物性物理学専攻	M	2	24	48	修士(理学)	0.87	H18	
	D	3	10	30	博士(理学)	0.66	H18	
宇宙理学専攻	M	2	20	40	修士(理学)	0.87	H18	
	D	3	9	27	博士(理学)	1.03	H18	
自然史科学専攻	M	2	39	78	修士(理学)	1.29	H18	
	D	3	20	60	博士(理学)	0.80	H18	
農学院							H18	札幌市北区北9条西9丁目
共生基盤学専攻	M	2	40	80	修士(農学)	0.97	H18	
	D	3	8	24	博士(農学)	1.24	H18	
生物資源科学専攻	M	2	42	84	修士(農学)	1.18	H18	
	D	3	14	42	博士(農学)	0.59	H18	
応用生物科学専攻	M	2	18	36	修士(農学)	1.85	H18	
	D	3	6	18	博士(農学)	0.94	H18	
環境資源学専攻	M	2	42	84	修士(農学)	1.29	H18	
	D	3	14	42	博士(農学)	0.56	H18	
生命科学学院							H18	札幌市北区北10条西8丁目
生命科学専攻	M	2	116	232	修士(生命科学/農科学)	0.99	H18	
	D	3	38	114	博士(生命科学/農科学)	0.82	H18	
臨床薬学専攻	D	4	6	24	博士(臨床薬学)	1.37	H24	
ソフトマテ専攻	M	2	16	32	修士(ソフトマテ科学)	1.50	H30	
	D	3	6	18	博士(ソフトマテ科学)	0.83	H30	
教育学院							H19	札幌市北区北11条西7丁目
教育学専攻	M	2	45	90	修士(教育学)	0.99	H19	
	D	3	21	63	博士(教育学)	0.69	H19	
国際広報庁`イ`観光学院							H19	札幌市北区北17条西8丁目
国際広報庁`イ`専攻	M	2	27	54	修士(国際広報庁`イ`学術)	1.12	H19	
	D	3	14	42	博士(国際広報庁`イ`学術)	0.47	H19	
観光創造専攻	M	2	15	30	修士(観光学)	1.09	H19	
	D	3	3	9	博士(観光学)	0.99	H19	
保健科学院							H20	札幌市北区北12条西5丁目
保健科学専攻	M	2	40	80	修士(保健科学/看護学)	1.14	H20	
	D	3	10	30	博士(保健科学/看護学)	0.93	H22	

工学院							H22	札幌市北区北13条西8丁目	
応用物理学専攻	M	2	33	66	修士(工学)	1.11	H22		
	D	3	9	27	博士(工学)	0.77	H22		
材料科学専攻	M	2	39	78	修士(工学)	1.11	H22		
	D	3	7	21	博士(工学)	0.80	H22		
機械宇宙工学専攻	M	2	27	54	修士(工学)	1.21	H22		
	D	3	5	15	博士(工学)	0.53	H22		
人間機械システム工学専攻	M	2	26	52	修士(工学)	1.20	H22		
	D	3	5	15	博士(工学)	0.46	H22		
IT社会・環境システム専攻	M	2	26	52	修士(工学)	1.19	H22		
	D	3	5	15	博士(工学)	1.00	H22		
量子理工学専攻	M	2	20	40	修士(工学)	1.35	H22		
	D	3	5	15	博士(工学)	0.60	H22		
環境フィールド工学専攻	M	2	24	48	修士(工学)	1.22	H22		
	D	3	6	18	博士(工学)	0.88	H22		
北方圏環境政策工学専攻	M	2	26	52	修士(工学)	1.09	H22		
	D	3	7	21	博士(工学)	0.80	H22		
建設都市空間システム工学専攻	M	2	22	44	修士(工学)	1.13	H22		
	D	3	5	15	博士(工学)	1.00	H22		
空間性能システム専攻	M	2	27	54	修士(工学)	0.81	H22		
	D	3	5	15	博士(工学)	0.53	H22		
環境創生工学専攻	M	2	28	56	修士(工学)	1.21	H22		
	D	3	5	15	博士(工学)	0.53	H22		
環境循環システム専攻	M	2	18	36	修士(工学)	1.27	H22		
	D	3	5	15	博士(工学)	2.00	H22		
共同資源工学専攻	M	2	10	20	修士(工学)	1.35	H29		
総合化学院							H22	札幌市北区北13条西8丁目	
総合化学専攻	M	2	129	258	修士(総合化学)	1.18	H22		
	D	3	38	114	博士(理学/工学/総合化学)	1.10	H22		
経済学院							S28	札幌市北区北9条西7丁目	平成29年4月名称変更
現代経済経営専攻	M	2	35	70	修士(経済学/経営学)	1.31	H12		
	D	3	8	24	博士(経済学/経営学)	0.86	H12		
会計情報専攻	P	2	20	40	会計修士(専門職)	1.05	H17		
医学院							H29	札幌市北区北15条西7丁目	
医科学専攻	M	2	20	40	修士(医科学/公衆衛生学)	1.55	H29		
医学専攻	D	4	90	360	博士(医学)	1.02	H29		
歯学院							S49	札幌市北区北13条西7丁目	平成29年4月名称変更
口腔医学専攻	D	4	40	160	博士(歯学)	0.82	H12		
獣医学院							S28	札幌市北区北18条西9丁目	平成29年4月名称変更
獣医学専攻	D	4	16	64	博士(獣医学)	0.97	H7		
医理工学院							H29	札幌市北区北15条西7丁目	
医理工学専攻	M	2	12	24	修士(医理工学)	1.12	H29		
	D	3	5	15	博士(医理工学)	1.30	H29		
国際感染症学院							H29	札幌市北区北18条西9丁目	
感染症学専攻	D	4	12	48	博士(感染症学/獣医学)	1.24	H29		

国際食資源学院							H29	札幌市北区北9条西9丁目
国際食資源学専攻	M	2	15	30	修士(食資源学)	1.09	H29	
公共政策学教育部							H17	札幌市北区北9条西7丁目
公共政策学専攻	P	2	30	60	公共政策学専攻(専門職)	1.19	H17	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。
 - ・構成大学毎に記入してください。

5 教員組織の状況

<大学院 国際食資源学院 国際食資源学専攻>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】		【平成29年度】		【平成30年度】	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>	氏名 <就任(予定)年月>	氏名 <就任(予定)年月>	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
専任	教授	大塚 吉則 <平成29年4月> 食資源生産論 食と健康特論演習 ワンダーフォーゲル実習Ⅴ 食資源学演習Ⅰ 食資源学演習Ⅱ 食資源学研究Ⅰ	大塚 吉則 <平成29年4月> 食資源生産論 食と健康特論演習 ワンダーフォーゲル実習Ⅴ 食資源学演習Ⅰ 食資源学演習Ⅱ 食資源学研究Ⅰ		
専任	教授	川村 周三 <平成29年4月> 食資源生産論 ポストハーベスト技術特論 ワンダーフォーゲル実習Ⅴ 食資源学演習Ⅰ 食資源学演習Ⅱ 食資源学研究Ⅰ	川村 周三 <平成29年4月> 食資源生産論 ポストハーベスト技術特論 ワンダーフォーゲル実習Ⅴ 食資源学演習Ⅰ 食資源学演習Ⅱ 食資源学研究Ⅰ	川村 周三 <平成29年4月> 食資源生産論 ポストハーベスト技術特論 ワンダーフォーゲル実習Ⅴ 食資源学演習Ⅰ 食資源学演習Ⅱ 食資源学研究Ⅰ	
専任	教授	高橋 昌志 <平成29年4月> 食資源生産論 生物生産技術特論 食資源特別講義(動物生殖工学) ワンダーフォーゲル実習Ⅴ 食資源学演習Ⅰ 食資源学演習Ⅱ 食資源学研究Ⅰ	高橋 昌志 <平成29年4月> 食資源生産論 生物生産技術特論 食資源特別講義(動物生殖工学) ワンダーフォーゲル実習Ⅴ 食資源学演習Ⅰ 食資源学演習Ⅱ 食資源学研究Ⅰ	高橋 昌志 <平成29年4月> 食資源生産論 生物生産技術特論 食資源特別講義(動物生殖工学) ワンダーフォーゲル実習Ⅴ 食資源学演習Ⅰ 食資源学演習Ⅱ 食資源学研究Ⅰ	
専任	教授	山田 敏彦 <平成29年4月> 食資源学総論 食資源生産論 持続的生産特論演習 食資源特別講義(農業の多様性) ワンダーフォーゲル実習Ⅲ 事前・事後演習Ⅲ ワンダーフォーゲル実習Ⅴ 食資源学演習Ⅰ 食資源学演習Ⅱ 食資源学研究Ⅰ	山田 敏彦 <平成29年4月> 食資源学総論 食資源生産論 持続的生産特論演習 食資源特別講義(農業の多様性) ワンダーフォーゲル実習Ⅲ 事前・事後演習Ⅲ ワンダーフォーゲル実習Ⅴ 食資源学演習Ⅰ 食資源学演習Ⅱ 食資源学研究Ⅰ	山田 敏彦 <平成29年4月> 食資源学総論 食資源生産論 持続的生産特論演習 食資源特別講義(農業の多様性) 事前・事後演習Ⅲ ワンダーフォーゲル実習Ⅴ 食資源学演習Ⅰ 食資源学演習Ⅱ 食資源学研究Ⅰ	
専任	教授	井上 京 <平成29年4月> 食資源学総論 食資源環境論 食資源倫理論 環境資源特論 水士管理特論 環境管理特論演習 ワンダーフォーゲル実習Ⅰ 事前・事後演習Ⅰ ワンダーフォーゲル実習Ⅴ 食資源学演習Ⅰ 食資源学演習Ⅱ 食資源学研究Ⅰ	井上 京 <平成29年4月> 食資源学総論 食資源環境論 食資源倫理論 環境資源特論 水士管理特論 環境管理特論演習 ワンダーフォーゲル実習Ⅰ 事前・事後演習Ⅰ ワンダーフォーゲル実習Ⅴ 食資源学演習Ⅰ 食資源学演習Ⅱ 食資源学研究Ⅰ	井上 京 <平成29年4月> 食資源学総論 食資源環境論 食資源倫理論 環境資源特論 水士管理特論 環境管理特論演習 ワンダーフォーゲル実習Ⅰ 事前・事後演習Ⅰ ワンダーフォーゲル実習Ⅴ 食資源学演習Ⅰ 食資源学演習Ⅱ 食資源学研究Ⅰ	
専任	教授	船水 尚行 <平成29年4月> 食資源学総論 食資源環境論 水士管理特論 環境解析とモニタリング特論演習 環境管理特論演習 食資源特別講義(資源回収型サニテーション) 食資源特別講義(水・エネルギー・食料連環) ワンダーフォーゲル実習Ⅲ 事前・事後演習Ⅲ ワンダーフォーゲル実習Ⅴ 食資源学演習Ⅰ 食資源学演習Ⅱ 食資源学研究Ⅰ	船水 尚行 <平成29年4月> 食資源学総論 食資源環境論 水士管理特論 環境解析とモニタリング特論演習 環境管理特論演習 食資源特別講義(資源回収型サニテーション) 食資源特別講義(水・エネルギー・食料連環) ワンダーフォーゲル実習Ⅲ 事前・事後演習Ⅲ ワンダーフォーゲル実習Ⅴ 食資源学演習Ⅰ 食資源学演習Ⅱ 食資源学研究Ⅰ		

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	久保田 肇 <平成29年4月>	専	教授	久保田 肇 <平成29年4月>	専	教授	久保田 肇 <平成29年4月>
		食資源ガバナンス論 分析経済学特論 食資源特別講義(経済政策論) ワンダーフォーゲル実習V 食資源学演習I 食資源学演習II 食資源学研究I			食資源ガバナンス論 分析経済学特論 食資源特別講義(経済政策論) ワンダーフォーゲル実習V 食資源学演習I 食資源学演習II 食資源学研究I			食資源ガバナンス論 分析経済学特論 食資源特別講義(経済政策論) ワンダーフォーゲル実習V 食資源学演習I 食資源学演習II 食資源学研究I
専	准教授	曾根 輝雄 <平成29年4月>	専	教授	曾根 輝雄 <平成29年4月>	専	教授	曾根 輝雄 <平成29年4月>
		食資源生産論 生物生産技術特論 食資源特別講義(GMO,食,農業) 食資源特別演習(ワイン生産学) ワンダーフォーゲル実習II 事前・事後演習II ワンダーフォーゲル実習IV 事前・事後演習IV ワンダーフォーゲル実習V 食資源学演習I 食資源学演習II 食資源学研究I			食資源生産論 生物生産技術特論 食資源特別講義(GMO,食,農業) 食資源特別演習(ワイン生産学) ワンダーフォーゲル実習II 事前・事後演習II ワンダーフォーゲル実習IV 事前・事後演習IV ワンダーフォーゲル実習V 食資源学演習I 食資源学演習II 食資源学研究I			食資源生産論 生物生産技術特論 食資源特別講義(GMO,食,農業) 食資源特別演習(ワイン生産学) ワンダーフォーゲル実習II 事前・事後演習II ワンダーフォーゲル実習IV 事前・事後演習IV ワンダーフォーゲル実習V 食資源学演習I 食資源学演習II 食資源学研究I
専	准教授	武田 晴治 <平成29年4月>	専	准教授	武田 晴治 <平成29年4月>	専	准教授	武田 晴治 <平成29年4月>
		食資源生産論 食と健康特論演習 ワンダーフォーゲル実習V 食資源学演習I 食資源学演習II 食資源学研究I			食資源生産論 食と健康特論演習 ワンダーフォーゲル実習V 食資源学演習I 食資源学演習II 食資源学研究I			食資源生産論 食と健康特論演習 ワンダーフォーゲル実習V 食資源学演習I 食資源学演習II 食資源学研究I
専	准教授	石井 一暢 <平成29年4月>	専	准教授	石井 一暢 <平成29年4月>	専	准教授	石井 一暢 <平成29年4月>
		環境解析とモニタリング特論演習 ワンダーフォーゲル実習V 食資源学演習I 食資源学演習II 食資源学研究I			環境解析とモニタリング特論演習 ワンダーフォーゲル実習V 食資源学演習I 食資源学演習II 食資源学研究I			環境解析とモニタリング特論演習 ワンダーフォーゲル実習V 食資源学演習I 食資源学演習II 食資源学研究I
専	准教授	内田 義崇 <平成29年4月>	専	准教授	内田 義崇 <平成29年4月>	専	准教授	内田 義崇 <平成29年4月>
		環境資源特論 水士管理特論 環境解析とモニタリング特論演習 環境管理特論演習 持続的生産特論演習 食資源特別講義(GMO,食,農業) ワンダーフォーゲル実習III 事前・事後演習III ワンダーフォーゲル実習V 食資源学演習I 食資源学演習II 食資源学研究I			環境資源特論 水士管理特論 環境解析とモニタリング特論演習 環境管理特論演習 持続的生産特論演習 食資源特別講義(GMO,食,農業) ワンダーフォーゲル実習III 事前・事後演習III ワンダーフォーゲル実習V 食資源学演習I 食資源学演習II 食資源学研究I			環境資源特論 水士管理特論 環境解析とモニタリング特論演習 環境管理特論演習 持続的生産特論演習 食資源特別講義(GMO,食,農業) ワンダーフォーゲル実習III 事前・事後演習III ワンダーフォーゲル実習V 食資源学演習I 食資源学演習II 食資源学研究I
専	准教授	川口 俊一 <平成29年4月>	専	准教授	川口 俊一 <平成29年4月>	専	准教授	川口 俊一 <平成29年4月>
		食資源環境論 水士管理特論 環境解析とモニタリング特論演習 環境管理特論演習 国際実践力演習 国際プレゼンテーションスキル演習 文系のための自然科学基礎論 ワンダーフォーゲル実習III 事前・事後演習III ワンダーフォーゲル実習V 食資源学演習I 食資源学演習II 食資源学研究I			食資源環境論 水士管理特論 環境解析とモニタリング特論演習 環境管理特論演習 国際実践力演習 国際プレゼンテーションスキル演習 文系のための自然科学基礎論 ワンダーフォーゲル実習III 事前・事後演習III ワンダーフォーゲル実習V 食資源学演習I 食資源学演習II 食資源学研究I			食資源環境論 水士管理特論 環境解析とモニタリング特論演習 環境管理特論演習 国際実践力演習 国際プレゼンテーションスキル演習 文系のための自然科学基礎論 ワンダーフォーゲル実習III 事前・事後演習III ワンダーフォーゲル実習V 食資源学演習I 食資源学演習II 食資源学研究I

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	小林 国之 <平成29年4月>
		食資源ガバナンス論 国際食資源経済学特論 比較農村社会学特論演習 食資源特別講義(食文化論) ワンダーフォーゲル実習Ⅳ 事前・事後演習Ⅳ ワンダーフォーゲル実習Ⅴ 食資源学演習Ⅰ 食資源学演習Ⅱ 食資源学研究Ⅰ
専	准教授	中谷 朋昭 <平成29年4月>
		食資源ガバナンス論 食資源統計学特論演習 食資源特別講義(応用計量経済学) 食資源特別演習(食資源経済統計学) ワンダーフォーゲル実習Ⅰ 事前・事後演習Ⅰ ワンダーフォーゲル実習Ⅴ 食資源学演習Ⅰ 食資源学演習Ⅱ 食資源学研究Ⅰ
専	准教授	鍋島 孝子 <平成29年4月>
		食資源ガバナンス論 比較農村社会学特論演習 食資源特別演習(近代農村政治史) 食資源特別演習(農村グローバル政治史) ワンダーフォーゲル実習Ⅴ 食資源学演習Ⅰ 食資源学演習Ⅱ 食資源学研究Ⅰ
専	准教授	松石 隆 <平成29年4月>
		食資源学総論 食資源生産論 食資源ガバナンス論 国際食資源経済学特論 食資源統計学特論演習 食資源特別講義(漁業管理論) 持続的生産特論演習 ワンダーフォーゲル実習Ⅴ 食資源学演習Ⅰ 食資源学演習Ⅱ 食資源学研究Ⅰ
専	講師	高牟禮 逸朗 <平成29年4月>
		食資源生産論 生物生産技術特論 ワンダーフォーゲル実習Ⅲ 事前・事後演習Ⅲ ワンダーフォーゲル実習Ⅴ 食資源学演習Ⅰ 食資源学演習Ⅱ 食資源学研究Ⅰ
専	講師	柏木 淳一 <平成29年4月>
		食資源環境論 環境資源特論 水士管理特論 環境解析とモニタリング特論演習 環境管理特論演習 ワンダーフォーゲル実習Ⅱ 事前・事後演習Ⅱ ワンダーフォーゲル実習Ⅴ 食資源学演習Ⅰ 食資源学演習Ⅱ 食資源学研究Ⅰ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	小林 国之 <平成29年4月>
		食資源ガバナンス論 国際食資源経済学特論 比較農村社会学特論演習 食資源特別講義(食文化論) ワンダーフォーゲル実習Ⅳ 事前・事後演習Ⅳ ワンダーフォーゲル実習Ⅴ 食資源学演習Ⅰ 食資源学演習Ⅱ 食資源学研究Ⅰ
専	准教授	中谷 朋昭 <平成29年4月>
		食資源ガバナンス論 食資源統計学特論演習 食資源特別講義(応用計量経済学) 食資源特別演習(食資源経済統計学) ワンダーフォーゲル実習Ⅰ 事前・事後演習Ⅰ ワンダーフォーゲル実習Ⅴ 食資源学演習Ⅰ 食資源学演習Ⅱ 食資源学研究Ⅰ
専	准教授	鍋島 孝子 <平成29年4月>
		食資源ガバナンス論 比較農村社会学特論演習 食資源特別演習(近代農村政治史) 食資源特別演習(農村グローバル政治史) ワンダーフォーゲル実習Ⅴ 食資源学演習Ⅰ 食資源学演習Ⅱ 食資源学研究Ⅰ
専	教授	松石 隆 <平成29年4月>
		食資源学総論 食資源生産論 食資源ガバナンス論 国際食資源経済学特論 食資源統計学特論演習 食資源特別講義(漁業管理論) 持続的生産特論演習 ワンダーフォーゲル実習Ⅴ 食資源学演習Ⅰ 食資源学演習Ⅱ 食資源学研究Ⅰ
専	講師	高牟禮 逸朗 <平成29年4月>
		食資源生産論 生物生産技術特論 ワンダーフォーゲル実習Ⅲ 事前・事後演習Ⅲ ワンダーフォーゲル実習Ⅴ 食資源学演習Ⅰ 食資源学演習Ⅱ 食資源学研究Ⅰ
専	講師	柏木 淳一 <平成29年4月>
		食資源環境論 環境資源特論 水士管理特論 環境解析とモニタリング特論演習 環境管理特論演習 ワンダーフォーゲル実習Ⅱ 事前・事後演習Ⅱ ワンダーフォーゲル実習Ⅴ 食資源学演習Ⅰ 食資源学演習Ⅱ 食資源学研究Ⅰ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	小林 国之 <平成29年4月>
		食資源ガバナンス論 国際食資源経済学特論 比較農村社会学特論演習 食資源特別講義(食文化論) ワンダーフォーゲル実習Ⅳ 事前・事後演習Ⅳ ワンダーフォーゲル実習Ⅴ 食資源学演習Ⅰ 食資源学演習Ⅱ 食資源学研究Ⅰ
専	准教授	中谷 朋昭 <平成29年4月>
		食資源ガバナンス論 食資源統計学特論演習 食資源特別講義(応用計量経済学) 食資源特別演習(食資源経済統計学) ワンダーフォーゲル実習Ⅰ 事前・事後演習Ⅰ ワンダーフォーゲル実習Ⅴ 食資源学演習Ⅰ 食資源学演習Ⅱ 食資源学研究Ⅰ
専	准教授	鍋島 孝子 <平成29年4月>
		食資源ガバナンス論 比較農村社会学特論演習 食資源特別演習(近代農村政治史) 食資源特別演習(農村グローバル政治史) ワンダーフォーゲル実習Ⅴ 食資源学演習Ⅰ 食資源学演習Ⅱ 食資源学研究Ⅰ
専	教授	松石 隆 <平成29年4月>
		食資源学総論 食資源生産論 食資源ガバナンス論 国際食資源経済学特論 食資源統計学特論演習 食資源特別講義(漁業管理論) 持続的生産特論演習 ワンダーフォーゲル実習Ⅴ 食資源学演習Ⅰ 食資源学演習Ⅱ 食資源学研究Ⅰ
専	講師	高牟禮 逸朗 <平成29年4月>
		食資源生産論 生物生産技術特論 ワンダーフォーゲル実習Ⅲ 事前・事後演習Ⅲ ワンダーフォーゲル実習Ⅴ 食資源学演習Ⅰ 食資源学演習Ⅱ 食資源学研究Ⅰ
専	講師	柏木 淳一 <平成29年4月>
		食資源環境論 環境資源特論 水士管理特論 環境解析とモニタリング特論演習 環境管理特論演習 ワンダーフォーゲル実習Ⅱ 事前・事後演習Ⅱ ワンダーフォーゲル実習Ⅴ 食資源学演習Ⅰ 食資源学演習Ⅱ 食資源学研究Ⅰ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	講師	齋藤 陽子 <平成29年4月>	専	講師	齋藤 陽子 <平成29年4月>	専	講師	齋藤 陽子 <平成29年4月>
		食資源ガバナンス論 国際食資源経済学特論 食資源特別講義(農業技術開発論) 食資源特別講義(農資源経済学)			食資源ガバナンス論 国際食資源経済学特論 食資源特別講義(農業技術開発論) 食資源特別講義(農資源経済学)			食資源ガバナンス論 国際食資源経済学特論 食資源特別講義(農業技術開発論) 食資源特別講義(農資源経済学) 食資源特別講義(応用計量経済学) 食資源特別演習(食資源経済統計学)
専	助教	高須賀 太一 <平成29年4月>	専	助教	高須賀 太一 <平成29年4月>	専	助教	高須賀 太一 <平成29年4月>
		食資源生産論 持続的生産特論演習 食資源特別講義(農業の多様性) 食資源特別講義(バイオエネルギー)			食資源生産論 持続的生産特論演習 食資源特別講義(農業の多様性) 食資源特別講義(バイオエネルギー)			食資源生産論 持続的生産特論演習 食資源特別講義(農業の多様性) 食資源特別講義(バイオエネルギー) ワンダーフォーゲル実習I 事前・事後演習I
専	助教	加藤 知道 <平成29年4月>	専	助教	加藤 知道 <平成29年4月>	専	准教授	加藤 知道 <平成30年4月>
		環境資源特論 環境解析とモニタリング特論演習 環境管理特論演習 食資源特別演習(気候変動と生態系) ワンダーフォーゲル実習V 食資源学演習I 食資源学演習II 食資源学研究I			環境資源特論 環境解析とモニタリング特論演習 環境管理特論演習 食資源特別演習(気候変動と生態系) ワンダーフォーゲル実習V 食資源学演習I 食資源学演習II 食資源学研究I			環境資源特論 環境解析とモニタリング特論演習 環境管理特論演習 食資源特別演習(気候変動と生態系) ワンダーフォーゲル実習V 食資源学演習I 食資源学演習II 食資源学研究I
								Guizani Mokhtar <平成30年4月> 食資源学総論 食資源環境論 水士管理特論 環境解析とモニタリング特論演習 環境管理特論演習 食資源特別講義(資源回収型サニテーション) 食資源特別講義(水・エネルギー・食料連携) ワンダーフォーゲル実習III 事前・事後演習III
兼任	教授	荒木 肇 <平成29年4月>	兼任	教授	荒木 肇 <平成29年4月>	兼任	教授	荒木 肇 <平成29年4月>
兼任	教授	綾部 時芳 <平成29年4月>	兼任	教授	綾部 時芳 <平成29年4月>	兼任	教授	綾部 時芳 <平成29年4月>
兼任	教授	齋藤 健 <平成29年4月>	兼任	教授	齋藤 健 <平成29年4月>	兼任	教授	齋藤 健 <平成29年4月>
兼任	教授	千葉 仁志 <平成29年4月>	兼任	教授	千葉 仁志 <平成29年4月>			
兼任	教授	山内 太郎 <平成29年4月>	兼任	教授	山内 太郎 <平成29年4月>	兼任	教授	山内 太郎 <平成29年4月>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	浦木 康光 <平成29年4月> 環境資源特論 環境解析とモニタリング特論演習 環境管理特論演習
兼任	教授	Jean Robert Pitte <平成29年4月> 食資源学総論 食資源ガバナンス論 食資源特別講義(食文化論)
兼任	教授	Brian Grant Fox <平成29年4月> 食資源学総論 食資源特別講義(バイオエネルギー)
兼任	教授	井上 健太郎 <平成29年4月> 食資源生産論 ポストハーベスト技術特論
兼任	教授	Robert Hackman <平成29年4月> 食資源生産論 食と健康特論演習
兼任	教授	Lance H. Baumgard <平成29年4月> 食資源環境論
兼任	教授	Roger Brett Boulton <平成29年4月> ポストハーベスト技術特論 食資源特別演習(ワイン生産学)
兼任	教授	Susan Capalbo <平成29年4月> 食資源特別講義(農業技術開発論)
兼任	教授	David Pannell <平成29年4月> 食資源特別講義(応用計量経済学)
兼任	教授	Philippe Karpe <平成29年4月> 食資源特別演習(アフリカの未来の農村社会)
兼任	准教授	小関 成樹 <平成29年4月> 食資源生産論 ポストハーベスト技術特論
兼任	准教授	井尻 成保 <平成29年4月> 生物生産技術特論
兼任	准教授	永野 昌志 <平成29年4月> 生物生産技術特論
兼任	准教授	Luciano Adrián González <平成29年4月> 食資源環境論
兼任	准教授	Michael Alan Kertesz <平成29年4月> 食資源環境論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	浦木 康光 <平成29年4月> 環境資源特論 環境解析とモニタリング特論演習 環境管理特論演習
兼任	教授	Jean Robert Pitte <平成29年4月> 食資源学総論 食資源ガバナンス論 食資源特別講義(食文化論)
兼任	教授	Brian Grant Fox <平成29年4月> 食資源学総論 食資源特別講義(バイオエネルギー)
兼任	教授	Michael Delwiche <平成29年12月> 食資源生産論 ポストハーベスト技術特論
兼任	教授	Robert Hackman <平成29年4月> 食資源生産論 食と健康特論演習
兼任	教授	Lance H. Baumgard <平成29年4月> 食資源環境論
兼任	教授	Roger Brett Boulton <平成29年4月> ポストハーベスト技術特論 食資源特別演習(ワイン生産学)
兼任	准教授	Philippe Karpe <平成29年4月> 食資源特別演習(アフリカの未来の農村社会)
兼任	准教授	小関 成樹 <平成29年4月> 食資源生産論 ポストハーベスト技術特論
兼任	准教授	井尻 成保 <平成29年4月> 生物生産技術特論
兼任	准教授	永野 昌志 <平成29年4月> 生物生産技術特論
兼任	准教授	Luciano Adrián González <平成29年4月> 食資源環境論
兼任	准教授	Michael Alan Kertesz <平成29年4月> 食資源環境論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	浦木 康光 <平成29年4月> 環境資源特論 環境解析とモニタリング特論演習 環境管理特論演習
兼任	教授	Brian Grant Fox <平成29年4月> 食資源学総論 食資源特別講義(バイオエネルギー)
兼任	教授	Robert Hackman <平成29年4月> 食資源生産論 食と健康特論演習
兼任	教授	Lance H. Baumgard <平成29年4月> 食資源環境論
兼任	教授	Roger Brett Boulton <平成29年4月> ポストハーベスト技術特論 食資源特別演習(ワイン生産学)
兼任	教授	Philippe Karpe <平成29年4月> 食資源特別演習(アフリカの未来の農村社会)
兼任	准教授	小関 成樹 <平成29年4月> 食資源生産論 ポストハーベスト技術特論
兼任	准教授	井尻 成保 <平成29年4月> 生物生産技術特論
兼任	准教授	永野 昌志 <平成29年4月> 生物生産技術特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	渥美 正太 <平成29年4月> 生物生産技術特論 食資源特別講義(バイオエネルギー)
兼任	准教授	Rickard Sandberg <平成29年4月> 食資源特別演習(食資源経済統計学)
兼任	准教授	岡田 啓詞 <平成29年4月> 環境資源特論 環境解析とモニタリング特論演習 環境管理特論演習
兼任	講師	Brian Joseph Jones <平成29年4月> 食資源環境論
兼任	助教	唄 花子 <平成29年4月> 食資源特別講義(動物生殖工学)
兼任	助教	古川 貴之 <平成29年4月> 食と健康特論演習
兼任	助教	三谷 朋弘 <平成29年4月> 持続的生産特論演習 食資源特別講義(農業の多様性)
兼任	助教	Amanda Bayer <平成29年4月> 持続的生産特論演習 食資源特別講義(農業の多様性)
兼任	助教	Nicolas Delbart <平成29年4月> 食資源特別演習(気候変動と生態系)
兼任	助教	Guizani Mokhtar <平成29年4月> 食資源環境論 食資源特別講義(資源回収型サステイナブル) 食資源特別講義(水・エネルギー・食料連環)
兼任	助教	Methee Kaewnern <平成29年4月> 食資源特別講義(漁業管理論)
兼任	非常勤講師	有路 昌彦 <平成29年4月> 食資源生産論
兼任	非常勤講師	組 信仁 <平成29年4月> 国際理解
兼任	非常勤講師	Oh Sang Kwon <平成29年4月> 食資源ガバナンス論
兼任	非常勤講師	Jong Soo Lim <平成29年4月> 食資源ガバナンス論
兼任	非常勤講師	John Antle <平成29年4月> 食資源特別講義(農業技術開発論)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	渥美 正太 <平成29年4月> 生物生産技術特論 食資源特別講義(バイオエネルギー)
兼任	准教授	Rickard Sandberg <平成29年4月> 食資源特別演習(食資源経済統計学)
兼任	准教授	岡田 啓詞 <平成29年4月> 環境資源特論 環境解析とモニタリング特論演習 環境管理特論演習
兼任	講師	Brian Joseph Jones <平成29年4月> 食資源環境論
兼任	助教	唄 花子 <平成29年4月> 食資源特別講義(動物生殖工学)
兼任	助教	古川 貴之 <平成29年4月> 食と健康特論演習
兼任	助教	三谷 朋弘 <平成29年4月> 持続的生産特論演習 食資源特別講義(農業の多様性)
兼任	助教	Amanda Bayer <平成29年4月> 持続的生産特論演習 食資源特別講義(農業の多様性)
兼任	准教授	Nicolas Delbart <平成29年4月> 食資源特別演習(気候変動と生態系)
兼任	助教	Guizani Mokhtar <平成29年4月> 食資源環境論 食資源特別講義(資源回収型サステイナブル) 食資源特別講義(水・エネルギー・食料連環)
兼任	助教	Methee Kaewnern <平成29年4月> 食資源特別講義(漁業管理論)
兼任	非常勤講師	有路 昌彦 <平成29年4月> 食資源生産論
兼任	非常勤講師	組 信仁 <平成29年4月> 国際理解
兼任	非常勤講師	Oh Sang Kwon <平成29年4月> 食資源ガバナンス論
兼任	非常勤講師	Jong Soo Lim <平成29年4月> 食資源ガバナンス論
兼任	非常勤講師	John Antle <平成29年4月> 食資源特別講義(農業技術開発論)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	渥美 正太 <平成29年4月> 生物生産技術特論 食資源特別講義(バイオエネルギー)
兼任	准教授	岡田 啓詞 <平成29年4月> 環境資源特論 環境解析とモニタリング特論演習 環境管理特論演習
兼任	助教	唄 花子 <平成29年4月> 食資源特別講義(動物生殖工学)
兼任	助教	三谷 朋弘 <平成29年4月> 持続的生産特論演習 食資源特別講義(農業の多様性)
兼任	助教	Methee Kaewnern <平成29年4月> 食資源特別講義(漁業管理論)
兼任	非常勤講師	有路 昌彦 <平成29年4月> 食資源生産論
兼任	非常勤講師	組 信仁 <平成29年4月> 国際理解
兼任	非常勤講師	Oh Sang Kwon <平成29年4月> 食資源ガバナンス論
兼任	非常勤講師	Jong Soo Lim <平成29年4月> 食資源ガバナンス論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	非常勤講師	Christopher M. Anderson <平成29年4月> 食資源特別講義(漁業管理論)
兼任	非常勤講師	Peter James Hansen <平成29年4月> 食資源特別講義(動物生殖工学)
兼任	非常勤講師	Ross Kingwell <平成29年4月> 食資源特別講義(農資源経済学)
兼任	非常勤講師	Steven Schilizzi <平成29年4月> 食資源特別講義(農資源経済学)
兼任	非常勤講師	Marit Ellen Kragt <平成29年4月> 食資源特別講義(農資源経済学)
兼任	非常勤講師	James Fogarty <平成29年4月> 食資源特別講義(応用計量経済学)
兼任	非常勤講師	Cristina Alexandra Oliveira Amado <平成29年4月> 食資源特別講義(応用計量経済学)
兼任	非常勤講師	Md Sayed Iftexhar <平成29年4月> 食資源特別講義(農資源経済学)
兼任	非常勤講師	Amin William Mugeru <平成29年4月> 食資源特別講義(応用計量経済学)
兼任	非常勤講師	Ram Pandit <平成29年4月> 食資源特別講義(応用計量経済学)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	非常勤講師	Christopher M. Anderson <平成29年4月> 食資源特別講義(漁業管理論)
兼任	非常勤講師	Peter James Hansen <平成29年4月> 食資源特別講義(動物生殖工学)
兼任	非常勤講師	Marit Ellen Kragt <平成29年4月> 食資源特別講義(農資源経済学)
兼任	非常勤講師	James Fogarty <平成29年4月> 食資源特別講義(応用計量経済学)
兼任	非常勤講師	Cristina Alexandra Oliveira Amado <平成29年4月> 食資源特別講義(応用計量経済学)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	非常勤講師	Christopher M. Anderson <平成29年4月> 食資源特別講義(漁業管理論)
兼任	非常勤講師	Peter James Hansen <平成29年4月> 食資源特別講義(動物生殖工学)
兼任	非常勤講師	Marit Ellen Kragt <平成29年4月> 食資源特別講義(応用計量経済学)
兼任	非常勤講師	James Fogarty <平成29年4月> 食資源特別講義(応用計量経済学)
兼任	非常勤講師	Cristina Alexandra Oliveira Amado <平成29年4月> 食資源特別講義(応用計量経済学)
兼任	非常勤講師	Ram Pandit <平成29年4月> 食資源特別講義(農資源経済学)
兼任	非常勤講師	船水 尚行 <平成30年4月> 食資源学総論 食資源環境論 水士管理特論 環境解析とモニタリング特論演習 環境管理特論演習 食資源特別講義(資源回収型サニテーション) 食資源特別講義(水・エネルギー・食料連携)
兼任	非常勤講師	中谷 朋昭 <平成30年4月> 食資源特別講義(応用計量経済学) 食資源特別演習(食資源経済統計学)
兼任	非常勤講師	千葉 仁志 <平成30年4月> 食と健康特論演習
兼任	非常勤講師	Hyun Park <平成29年4月> 食資源ガバナンス論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
						兼任	非常勤講師	Michael Delwiche <平成30年4月> 食資源生産論 ポストハーベスト技術 特論
						兼任	非常勤講師	Luciano Adrián González <平成30年4月> 食資源環境論
						兼任	非常勤講師	Michael Alan Kertesz <平成30年4月> 食資源環境論
						兼任	非常勤講師	Rickard Sandberg <平成30年4月> 食資源特別演習(食資源 経済統計学)
						兼任	非常勤講師	Brian Joseph Jones <平成30年4月> 食資源環境論
						兼任	非常勤講師	Mario Herrero <平成30年4月> 持続的生産特論演習 食資源特別講義(農業 の多様性)
						兼任	非常勤講師	Benjamin Poulter <平成30年4月> 食資源特別演習(気候 変動と生態系)
						兼任	非常勤講師	Steven Buccoia <平成30年4月> 食資源特別講義(農業 技術開発論)

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
 その上で、**既出時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
 ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 ・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成29年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・(専)曾根輝雄准教授 平成28年8月教授昇任(平成28年11月教員審査済み)。
- ・(専)松石隆准教授 平成29年4月教授昇任(平成29年1月教員審査済み)。
- ・(兼任)井上健太郎教授 退職。「食資源生産論」「ポストハーベスト技術特論」については、当該科目担当教員の(兼任)小関成樹准教授に変更したが、更に平成29年度内に(兼任)Michael Delwiche教授に変更。
- ・(兼任)Susan Capalbo教授を担当から外し、「食資源特別講義(農業技術開発論)」については、当該科目担当教員の(兼任)John Antle非常勤講師に変更。
- ・(兼任)David Pannell教授を担当から外し、「食資源特別講義(応用計量経済学)」については、当該科目担当教員の(兼任)Christopher M. Anderson非常勤講師に変更。
- ・(兼任)Nicolas Delbart助教 准教授昇任
- ・(兼任)Ross Kingwell非常勤講師を担当から外し、「食資源特別講義(農資源経済学)」については、当該科目担当教員の(兼任)Marit Ellen Kragt非常勤講師に変更。
- ・(兼任)Steven Schilizzi非常勤講師を担当から外し、「食資源特別講義(農資源経済学)」については、当該科目担当教員の(兼任)Marit Ellen Kragt非常勤講師に変更。
- ・(兼任)Md. Sayed Iftakhar/Ross Kingwell非常勤講師を担当から外し、「食資源特別講義(農資源経済学)」については、当該科目担当教員の(兼任)Marit Ellen Kragt非常勤講師に変更。
- ・(兼任)Amin William Mugeru非常勤講師を担当から外し、「食資源特別講義(応用計量経済学)」は当該科目担当教員の(兼任)James Fogarty非常勤講師に変更。
- ・(兼任)Ram Pandit非常勤講師を担当から外し、「食資源特別講義(応用計量経済学)」は当該科目担当教員の(兼任)James Fogarty非常勤講師に変更。

【平成30年度】

- ・(専)大塚吉則教授 平成30年3月退職
「食資源生産論」「食と健康特論演習」については、当該科目担当教員の(専)武田晴治准教授に変更(平成30年1月教員審査済み)。
「ワンダーフォーゲル実習Ⅴ」「食資源学演習Ⅰ」「食資源学演習Ⅱ」「食資源学研究Ⅰ」については、同じ研究分野の教員が当該科目担当及び研究指導を行うため、支障はない。
- ・(専)山田敏彦教授を「ワンダーフォーゲル実習Ⅲ」の担当から外し、当該科目担当教員の(専)高年禮逸朗講師に変更予定(平成30年3月教員審査書類提出(審査中))。
- ・(専)船水尚行教授 平成30年3月退職。
「食資源学総論」「食資源環境論」「水士管理特論」「環境解析とモニタリング特論演習」「環境管理特論演習」「食資源特別講義(資源回収型サニテーション)」「食資源特別講義(水・エネルギー・食料連環)」については、同人が引き続き(兼任)非常勤講師として、(専)Guizani Mokhtar助教と共同担当に変更(平成30年1月教員審査済み)。
「ワンダーフォーゲル実習Ⅲ」「事前・事後演習Ⅲ」については、(専)Guizani Mokhtar助教に変更予定(平成30年3月教員審査書類提出(審査中))。
「ワンダーフォーゲル実習Ⅴ」「食資源学演習Ⅰ」「食資源学演習Ⅱ」「食資源学研究Ⅰ」については、同じ研究分野の教員が当該科目担当及び研究指導を行うため、支障はない。
- ・(専)中谷明昭准教授 平成30年3月退職
「食資源ガバナンス論」「食資源統計学特論演習」については、当該科目担当教員の(専)松石隆教授に変更(平成30年1月教員審査済み)。
「食資源特別講義(応用計量経済学)」「食資源特別演習(食資源経済統計学)」については、同人が引き続き(兼任)非常勤講師として、当該科目担当教員の(専)齋藤陽子講師と共同担当に変更(平成30年1月教員審査済み)。
「ワンダーフォーゲル実習Ⅰ」「事前・事後演習Ⅰ」については、(専)鍋島孝子准教授、(専)高須賀太一助教に変更(平成30年1月教員審査済み)。
「ワンダーフォーゲル実習Ⅴ」「食資源学演習Ⅰ」「食資源学演習Ⅱ」「食資源学研究Ⅰ」については、同じ研究分野の教員が当該科目担当及び研究指導を行うため、支障はない。
- ・(専)加藤知道助教 平成30年4月准教授昇任(平成30年1月教員審査済み)
- ・(兼任)Guizani助教 平成30年4月専任教員に切り替え(平成30年1月教員審査済み)
- ・(兼任)千葉仁教授 退職。「食と健康特論演習」は同人が引き続き(兼任)非常勤講師として担当。
- ・(兼任)Jean Robert Pitte教授 退職
「食資源学総論」については、後任選定中。
「食資源ガバナンス論」については、(兼任)Hyun Park非常勤講師に変更。
「食資源特別講義(食文化論)」については、9月以降に開講することとし、当該科目担当教員の(専)小林国之准教授に変更予定(平成30年6月教員審査書類提出予定)。
- ・(兼任)Michael Delwiche教授 退職。「食資源生産論」「ポストハーベスト技術特論」については、同人が引き続き(兼任)非常勤講師として担当。
- ・(兼任)Luciano Adrian González准教授 退職。「食資源環境論」については、同人が引き続き(兼任)非常勤講師として担当。
- ・(兼任)Michael Alan Kertesz准教授 退職。「食資源環境論」については、同人が引き続き(兼任)非常勤講師として担当。
- ・(兼任)Rickard Sandberg准教授 退職。「食資源特別演習(食資源経済統計学)」については、同人が引き続き(兼任)非常勤講師として担当。
- ・(兼任)Brian Joseph Jones准教授 退職。「食資源環境論」については、同人が引き続き(兼任)非常勤講師として担当。
- ・(兼任)古川貴之助教を担当から外した。「食と健康特論演習」については、(兼任)Robert Hackman教授に変更。
- ・(兼任)Amanda Bayer助教を担当から外した。「持続的生産特論演習」「食資源特別講義(農業の多様性)」については、(兼任)Mario Herrero非常勤講師に変更。
- ・(兼任)Nicolas Delbart准教授を担当から外した。「食資源特別演習(気候変動と生態系)」については、(兼任)Benjamin Poulter非常勤講師に変更。
- ・(兼任)John Antle非常勤講師を担当から外した。「食資源特別講義(農業技術開発論)」については、(兼任)Steven Buccola非常勤講師に変更。
- ・(兼任)Marit Ellen Kragt非常勤講師を「食資源特別講義(農資源経済学)」の担当から外し、(兼任)Ram Pandit非常勤講師に変更。
- ・(兼任)Cristina Alexandra Oliveira Amado非常勤講師担当の「食資源特別講義(応用計量経済学)」のうち1回分を(兼任)Marit Ellen Kragt非常勤講師に変更。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員担当等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員担当等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
4	3	2
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	教授	准教授	講師	助教	計 (C)
7	9	3	2	21	7	7	3	2	19	7	7	3	2	19
(9)	(7)	(3)	(2)	(21)						[0]	[Δ2]	[0]	[0]	[Δ2]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
19	2	0			17	2	0			17	2	0		
(19)	(2)	(0)								[Δ2]	[0]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、
完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して担当してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て担当する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として担当されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として担当する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{19}{21} = \boxed{90.47} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して担当している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{19} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
						該当なし				
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)				
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	教授	大塚 吉則	必修	食資源生産論	①	H30.3.31付け他大学採用のため辞任 (30)				
			選択必修	食と健康特論演習	①					
			選択必修	ワンダーフォーゲル実習V	①					
			必修	食資源学演習 I	①					
			必修	食資源学演習 II	①					
			必修	食資源学演習 I	①					
2	教授	船水 尚行	必修	食資源学総論	①※	H30.3.31付け他大学採用のため辞任 (30) ※別の専任教員が後任として担当するとともに、本人が兼任教員として共同で担当するが、①とする				
			必修	食資源環境論	①※					
			選択必修	水土管理特論	①※					
			選択必修	環境解析とモニタリング特論演習	①※					
			選択必修	環境管理特論演習	①※					
			選択	食資源特別講義(食資源の国際化)	①※					
			選択	食資源特別講義(食資源の環境)	①※					
			選択必修	ワンダーフォーゲル実習III	①					
			選択必修	事前・事後演習III	①					
			選択必修	ワンダーフォーゲル実習V	①					
			必修	食資源学演習 I	①					
			必修	食資源学演習 II	①					
			必修	食資源学演習 I	①					
3	准教授	中谷 朋昭	必修	食資源ガバナンス論	①	H30.3.31付け他大学採用のため辞任 (30) ※別の専任教員が後任として担当するとともに、本人が兼任教員として共同で担当するが、①とする				
			選択必修	食資源統計学特論演習	①					
			選択	食資源特別講義(応用計量経済学)	①※					
			選択	食資源特別講義(食資源経済統計学)	①※					
			必修	ワンダーフォーゲル実習 I	①					
			必修	事前・事後演習 I	①					
			選択必修	ワンダーフォーゲル実習 V	①					
			必修	食資源学演習 I	①					
			必修	食資源学演習 II	①					
			必修	食資源学演習 I	①					
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)				
3	人	必修	15	科目	必修	15	科目	必修	0	科目
		選択	14	科目	選択	14	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	29	科目	計	29	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について**に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計(D) + (F)			後任補充状況の集計(E) + (G)										
辞任等した教員数		担当科目数の合計(a) + (b) + (c)	①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)						
3	人	必修	15	科目	必修	15	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	14	科目	選択	14	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	29	科目	計	29	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{3}{21} = 14.28 \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由							
						該当なし							
合計			後任補充状況の集計										
辞任した教員数		担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)					
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

平成30年3月31日付けで教授2名、准教授1名が辞任したことにより、教授1名の後任として助教1名を補充した。他2名の後任の補充は行っていないが、当該教員の担当科目は、同じ研究分野の教員が授業科目の担当および研究指導を行なっているため、支障はない。なお、辞任した教授1名および准教授1名は、授業科目の一部を兼任教員として後任の担当教員と共同で担当しており、平成29年度に研究指導をしていた学生については、研究指導委託により、1年間に限り、引き続き副指導教員として協力をしていることから、学生への影響は少ない。また、学生には、教員等から周知し、今後入学してくる学生へは募集要項に当該3名の教員名を記載しないため、学生への影響はない。(30)

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成29年4月)	学位の英語名称について、他大学の教育課程の事例を踏まえて説明がなされているが、「Food Resources」と同一の学位名称の事例がなく国際通用性があるかどうか不明瞭であるため、国際通用性の観点を踏まえ、The degree of Master of Food Resourcesと学位を設定する理由についての説明を充実すること。	留意事項 ① 特定の学問分野に特化することなく、複数の学問領域にまたがって食資源問題にアプローチする本学院の教育内容を、シンプルに表現できていること。 ② 米国・欧州・豪州・アジアの企業人、国際機関職員、大学教員等に説明したところ、Food Resourcesという学位名が、本学院の教育内容を最も正確に表現しているという賛同が得られたこと。 ③ 食資源学の教育プログラムは各国に多数の先行事例があり、食資源学という分野が世界的に浸透しつつあること。 学位の国際通用性を計る上で重要なことは、「名称に先例があること」だけではなく、「どのようなバックグラウンド（国籍、職業、専門性等）を持つ者にとっても、学位名から教育内容が容易に把握できること」である。①～③は、この観点を満たしており、「Food Resources」という名称は、国際通用性を担保できていると考えている。	履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年2月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<大学院 国際食資源学院 国際食資源専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 施設・設備 a セミナー室 (135㎡) b ラウンジ (98㎡) c 図書	① 学生の修学環境を改善した。 a セミナー室 (135㎡) を2室に分割できるようパーテーションを設置した。 b 3階ラウンジ (98㎡) スペースを利用し、休養室休養室 (9.5㎡) を設置した。 c 2階ラウンジ (98㎡) スペースに本棚を設置し、教員からの寄贈図書 (500冊超) を配置した。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD・SD活動含む)

1. 高等教育推進機構運営委員会高等教育研修専門委員会 ① 実施体制 a 委員会の設置状況 高等教育推進機構運営委員会高等教育研修専門委員会 b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む) 平成27年度2回開催, 平成28年度1回開催, 平成29年度1回開催 c 委員会の審議事項等 教員、ティーチング・アシスタント、ティーチング・フェロー等に係る研修の企画、立案及び実施に関すること 職員に係る研修の企画、立案及び実施並びに研修情報の一元化に関すること 総合入試制度に係る進路支援、修学支援、学習支援、データ分析等に関すること その他教職員等の研修に関すること ② 実施状況 a 実施内容 本学教職員を対象としたFD・SDの実施 b 実施方法 ワークショップ形式、講義形式、講演会等の本学教職員を対象としたFD・SDの実施 c 開催状況 (教員の参加状況含む) 知って活用したい北大の教員支援制度 (4/21, 北大22名) メンタルヘルスケア講演会～対学生メンタルヘルスケア編 (5/15, 北大28名, 北大以外14名) 効果的なグループワークのためのファシリテーション入門ワークショップ (5/19, 北大11名, 北大以外10名) 講演会「『アクティブ・ラーニング時代』の大人数講義法の基本」 (5/30, 北大46名, 北大以外34名) 講演会「授業準備と運営～学習者の認知・心理的側面から～」 (6/14, 北大15名, 北大以外17名) 問いと学習環境を意識した授業づくりの方向性ワークショップ (北大7名, 北大以外6名) 第32回北海道大学教育ワークショップ (6/23-24, 北大15名, 北大以外2名) メンタルヘルスケア講演会～対教職員メンタルヘルスケア編 (6/26, 北大39名, 北大以外21名) ルーブリック評価入門ワークショップ (7/5, 北大8名, 北大以外13名) 講演会「多様な学習動機への対応」 (7/21, 北大22名, 北大以外16名) 講演会「発達障害のある学生の理解と対応」(共催) (8/8, 北大43名, 北大以外21名)

講演会「円滑な講義・演習のための高等教育における学びのユニバーサルデザイン」(共催) (8/9, 北大18名, 北大以外9名)

講演会「Practical use of IR data, and training researchers in charge of IR」(8/10, 北大21名, 北大以外10名)

授業運営の苦悩～解決策を探る(8/18, 北大5名, 北大以外6名)

Teaching in Englishワークショップ(8/21, 北大13名, 北大以外4名)

北海道FD・SDフォーラム2017(9/1, 北大35名, 北大以外63名)

シンポジウム「アクティブラーニングは日本の教育を変えるのか」(9/2, 北大17名, 北大以外66名)

Workshop on creating rubrics(9/8, 北大7名)

第33回北海道大学教育ワークショップ(9/14-15, 北大16, 北大以外5名)

アクティブラーニング導入ワークショップ(9/20, 北大7名, 北大以外7名)

ルーブリック評価入門ワークショップ(9/22, 北大12名, 北大以外14名)

講演会「伝わる話し方を心がけて」(10/23, 北大57名, 北大以外10名)

E L M S 講習会～授業でE L M S を活用する～(11/10・13, 北大32名)

第34回北海道大学教育ワークショップ(11/17-18, 北大14名, 北大以外1名)

講演会「学習意欲を高め維持するプレゼンテーションの技法」(11/24, 北大45名, 北大以外22名)

Classroom management techniques for classes conducted in English(12/8, 北大12名, 北大以外1名)

シラバスのブラッシュアップ研修(12/9, 北大4名, 北大以外3名)

求められる学習支援を考える(12/15, 北大8名, 北大以外8名)

英文Eメールライティング研修(フォーマット編)(1/26, 北大14名, 北大以外5名)

英文Eメールライティング研修(表現編)(1/27, 北大16名, 北大以外4名)

英語コミュニケーション研修(リスニング編)(2/16, 北大25名, 北大以外3名)

英語コミュニケーション研修(スピーキング編)(2/17, 北大22名, 北大以外3名)

アクティブラーニング導入ワークショップ(2/21, 北大7名, 北大以外2名)

ルーブリック評価入門ワークショップ(2/22, 北大11名, 北大以外6名)

英語プレゼンテーション研修(3/6・7, 北大4名)

アカデミック・ライティング研修(3/14, 北大10名, 北大以外2名)

改めて教育の質保証を検討する(3/15, 北大3名, 北大以外14名)

FD・SD研修企画マネジメント(3/15, 北大8名, 北大以外9名)

北海道地区国立大学法人等初任職員研修(4/12-14, 北大52名, 北大以外26名)

初任事務職員英語研修(6/6-7/27, 北大49名)

初任事務職員実地研修(8/22-9/1, 北大49名)

初任事務職員フォローアップ研修(11/10, 北大47名)

北海道地区国立大学法人等中堅職員研修(6/12-14, 北大22名, 北大20以外名)

北海道地区国立大学法人等係長研修(12/13-15, 北大17名, 北大以外16名)

北海道地区国立大学法人等会計基準研修(10/11-13, 北大24名, 北大以外15名)

会計実務研修(7/24-26, 北大15名)

事務職員英会話研修(5/19-12/15, 北大16名)

事務職員海外語学研修(ニュージーランド)(10/6-11/19, 北大1名)

事務職員海外語学研修(カナダ)(10/22-12/21, 北大1名)

事務職員海外インターンシップ(9/30-3/26, 北大1名)

事務職員TOEICスコアアップ研修(10/17-12/5, 北大15名)

事務職員英会話スキルアップ研修(10/18-12/6, 北大16名)

事務職員英会話スクール利用研修(10/2-1/21, 北大17名)

事務職員eラーニング利用研修(7/1-12/31, 北大81名)

TOEIC-IPテスト(希望者)(2回)(8/28・1/29, 北大83名)

事務職員海外短期集中研修(2回)(8/21-9/1, 11/13-17, 北大4名)

北海道地区国立大学法人等学生支援担当職員SD研修(12/14-15, 北大8名, 北大以外12名)

北海道地区学生指導研修会(8/24-25, 北大10名, 北大以外32名)

教務事務実務研修(11/9-10, 北大18名)

北海道大学における学生対応に関する研修会(2/8, 北大65名)

北海道地区国立大学法人等事務情報化講習会(Access初級編)(7/24-25, 北大16名, 北大8以外名)

北海道地区国立大学法人等アドバイラストラータ研修(10/16-17, 北大19名, 北大以外1名)

利用支援課新任担当者実務研修(4/5-7, 北大19名)

附属図書館新任職員SD研修(4/17, 北大11名)

北海道地区大学図書館職員フレッシュ・パーソン・セミナー(9/14-15, 北大7名, 北大以外11名)

北海道地区国立大学法人等施設担当職員研修会(10/12-13, 北大2名, 北大以外14名)

北海道地区国立大学法人等技術職員研修（8/23-25，北大29名，北大以外6名）
ユニバーシティ・アドミニストレーター育成講座（9/7-11/14，北大9名）
「プレゼンテーション」講座（2/14，北大11名）
メディアトレーニング講座（9/12，北大31名）
プレスリリース講座（11/21，北大58名）
北海道地区大学SD研修「大学職員セミナー」（11/6-7，北大7名，北大以外27名）

- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
各FD終了後にアンケートを実施し，参加者の傾向や満足度等を分析し，次回以降の同行事の改善に役立てている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

全学教育科目に係る学生による授業評価アンケートを紙面にて実施している。毎年度，第1学期と第2学期に実施している。

b 教員や学生への公開状況，方法等

全学教育科目に係る学生による授業アンケート報告書を作成し，高等教育推進機構のホームページに公表している。

第1学期と第2学期のデータを併せて1年分の結果を教員本人と教員の所属部局長，科目責任者へ通知している。また，アンケートの質問項目に対する回答結果及び学生の自由意見を受けて，各教員や科目責任者に報告書を提出してもらい，提出されたものの中から授業改善への効果があるものや他の教員の参考になる事例等を高等教育推進機構のホームページで公表している。

2. 大学院国際食資源学院教務・学生委員会（国際食資源学院のFDを実施）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

国際食資源学院 教務・学生委員会

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

平成29年度は10回開催（各回5～7名が参加）

c 委員会の審議事項等

教育課程及び授業に関する事項

学生の入学及び修了に関する事項

学位論文及び学位審査に関する事項

教育・指導に関する事項

ワンダーフォーゲル実習に関する事項

学生便覧，シラバス，時間割，学事暦等に関する事項

学生の国際交流に関する事項

奨学金に関する事項

学生の懲戒に関する事項

FDに関する事項

その他教務・厚生補導に関する事項

② 実施状況

a 実施内容

本学教職員を対象としたFDの実施

b 実施方法

講義形式，講演会等の本学教職員を対象としたFDの実施

c 開催状況（教員の参加状況含む）

FD研修会「アフリカにおける安全確保の仕方」（10/13，教員20名）

FD研修会「ハラスメントを理解して人間関係の悩みを減らそう！」（農学院主催）
（5/26，教員85名（うち国際食資源学院7名），事務職員4名）

FD研修会「安全保障輸出管理」（農学院主催）
（12/27，教員47名（うち国際食資源学院4名），事務職員28名）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

参加者の傾向や満足度等を聴取し，次回以降FDの改善に役立てている。
ワンダーフォーゲル実習による海外渡航が必須になっている本学院にとって海外での安全確保も課題の一つになっており，FDを通じて海外での様々なリスクに対する意識が高まったとともに，海外渡航時の本学院の対応を考える上で有益であった。

- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
- a 実施の有無及び実施時期
平成29年度実施済み。それぞれの授業の最終回に実施。
- b 教員や学生への公開状況、方法等
Ⅰ・Ⅱ期の授業はⅡ期終了後に、Ⅲ・Ⅳ期の授業はⅣ期終了後に、それぞれ集計結果を各教員へ通知している。学生に対しては掲示により公開している。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
北海道大学国際食資源学院の設置の趣旨・目的は、地球規模で拡大する食資源問題の解決に関わる国際的なリーダーを養成するものである。食資源問題をProduction・Environment・Governanceの観点から包括的に理解するために、従来の文系・理系の枠を超えた分離融合型の学際的な教育を実施した。
具体的には、専任教員及び招致した多数の国内外の研究者による講義等をは、全て英語で実施するとともに、学生1名に対し3名の専任教員の体制で研究指導を実施するなど、手厚い指導を行った。また、本学院のカリキュラムの特色である学生が国内外の研究機関に滞在する「ワンダーフォーゲル実習」のうち、1年時の必修科目である「ワンダーフォーゲル実習Ⅰ」において、デンマークとミャンマーに滞在し、現地の大学院生と共に講義聴講と関連施設の視察等を行い、地球規模の広い視野を培った。
さらに、国際社会への関心を深め、世界的なネットワークを形成するため、講義以外にも、国際機関で活躍した兼任教員によるグローバル人材を目指すための講演会や、複数回の外国人教師によるランチョンセミナーを開催し、世界的課題に関する活発な議論を行った。
平成29年度は概ね設置計画どおり教育を推進したと考えられる。
- ② 自己点検・評価報告書
- a 公表(予定)時期
自己点検・評価の結果の公表は、完成年度を迎える平成31年度を予定している。
- b 公表方法
大学ホームページ上に公開予定(平成32年度を予定)
- ③ 認証評価を受ける計画
本学では、平成27年度に大学評価・学位授与機構が実施する大学機関別認証評価を受審したところであり、平成33年度に次回の認証評価(大学改革支援・学位授与機構が実施)を受審する予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

- 設置計画履行状況報告書
- a ホームページに公表(予定)の有無 (有 無)
- b 公表(予定)有の場合の公表(予定)時期 (平成30年 6月 1日)

(注) ・ 「a ホームページに公表(予定)有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表(予定)有の場合の公表(予定)時期」には、「a ホームページに公表(予定)有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

国立大学法人北海道大学高等教育推進機構運営委員会高等教育研修専門委員会内規

(平成 27 年 4 月 1 日制定)

(趣旨)

第 1 条 この内規は、国立大学法人北海道大学高等教育推進機構規程（平成 22 年海大達第 243 号）第 30 条第 3 項の規定に基づき、国立大学法人北海道大学高等教育推進機構運営委員会高等教育研修専門委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営について定めるものとする。

(審議事項)

第 2 条 委員会は、次に掲げる事項について審議する。

- (1) 教員、ティーチング・アシスタント、ティーチング・フェロー等に係る研修の企画、立案及び実施に関する事。
- (2) 職員に係る研修の企画、立案及び実施並びに研修情報の一元化に関する事。
- (3) 総合入試制度に係る進路支援、修学支援、学習支援、データ分析等に関する事。
- (4) その他教職員等の研修に関する事。

(組織)

第 3 条 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 高等教育研修センター長（第 5 条において「センター長」という。）
 - (2) 高等教育研修センター副センター長（第 5 条において「副センター長」という。）
 - (3) 文学部，教育学部，法学部，経済学部，文学研究科，法学研究科，教育学院，国際広報メディア・観光学院，経済学院及び公共政策学教育部の教授又は准教授のうちから 2 名
 - (4) 理学部，工学部，農学部，水産学部，情報科学研究科，水産科学院，環境科学院，理学院，農学院，生命科学院，工学院，総合化学院及び国際食資源学院の教授又は准教授のうちから 2 名
 - (5) 医学部，歯学部，薬学部，獣医学部，保健科学院，医学院，歯学院，獣医学院，医理工学院及び国際感染症学院の教授又は准教授のうちから 2 名
 - (6) 高等教育推進機構の教授又は准教授のうちから 若干名
 - (7) 総務企画部長
 - (8) 学務部長
 - (9) その他機構長が必要と認めた者
- 2 前項第 3 号から第 6 号まで及び第 9 号の委員は、機構長が委嘱する。

(任期)

第 4 条 前条第 1 項第 3 号から第 6 号まで及び第 9 号の委員の任期は、2 年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

- 2 前項の委員は、再任されることができる。

(委員長)

第 5 条 委員会に委員長を置き、センター長をもって充てる。

- 2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長の指名した副センター長がその職務を代行する。

(議事)

第 6 条 委員会は、委員の 3 分の 2 以上の出席がなければ議事を開くことができない。

- 2 委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決するものとする。

(代理者)

第 7 条 第 3 条第 1 項第 3 号から第 6 号までの委員に事故があるときは、代理者を出席させることができる。

2 前項の代理者は、当該教育研究組織の教授又は准教授とする。

(委員以外の者の出席)

第8条 委員会が必要と認めたときは、委員会に委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(委員会の庶務)

第9条 委員会の庶務は、学務部学務企画課において、事務局各課の協力を得て処理する。

(雑則)

第10条 この内規に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

○北海道大学大学院国際食資源学院教務・学生委員会内規

(平成29年4月1日制定)

(趣旨)

第1条 この内規は、北海道大学大学院国際食資源学院組織運営内規(平成28年9月2日制定)第14条第2項の規定に基づき、北海道大学大学院国際食資源学院教務・学生委員会(以下「委員会」という。)に関し必要な事項を定めるものとする。

(審議事項)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 教育課程及び授業に関する事項
- (2) 学生の入学及び修了に関する事項
- (3) 学位論文及び学位審査に関する事項
- (4) 教育・指導に関する事項
- (5) ワンダーフォーゲル実習に関する事項
- (6) 学生便覧, シラバス, 時間割, 学事暦等に関する事項
- (7) 学生の国際交流に関する事項
- (8) 奨学金に関する事項
- (9) 学生の懲戒に関する事項
- (10) FDに関する事項
- (11) その他教務・厚生補導に関する事項

(組織)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる者をもって組織する。

- (1) 副学院長
- (2) 各領域の教員から2名
- (3) 北海道大学教務委員会委員(国立大学法人北海道大学教務委員会規程(平成11年2月17日海大達第9号)第3条第13号の委員)
- (4) その他学院長が必要と認めた者

(任期)

第4条 前条第2号及び第4号の委員の任期は2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 前項の委員は、再任されることができる。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

2 委員長は第3条第1項第1号の委員をもって充て、副委員長は、委員の互選により選出する。

3 委員長は、委員会を召集し、その議長となる。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代行する。

(議事)

第6条 委員会は、委員の過半数で、かつ、各領域から最低1名以上の出席がなければ議事を開くことができない。

2 委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決する。

(代理出席)

第7条 第3条第1項第2号の委員に事故があるときは、当該領域の教員を代理として出席させることができる。

(専門委員会)

第8条 委員会に、専門的事項を審議するため、必要に応じて専門委員会を置くことができる。

2 専門委員会に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

(委員以外の者の出席)

第9条 委員会が必要と認めるときは、委員以外の者を出席させて、その者から説明又は意見を聴くことができる。

(委員会の庶務)

第10条 委員会の庶務は、農学事務部において処理する。

(雑則)

第11条 この内規に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

1 この内規は、平成29年4月1日から実施する。

2 この内規の施行後、最初に委嘱される第3条第2号の委員のうちの各領域1名の任期は、第4条第1項の規定にかかわらず、平成30年3月31日までとする。